

「宝島裁判」におけるＪＲ東労組と野村旗守氏との和解について

1月22日、ＪＲ東労組は、『別冊宝島 Real』に「最大のマスコミタブー！ＪＲ革マル（Ｚ）問題と不気味な新幹線走行妨害事件」と題する記事を書いた野村旗守氏を名誉毀損で訴えた裁判に和解した。

和解の内容は、①記事は東労組が革マル派に支配されており、ＪＲ福知山線事故を上回る列車事故を引き起こすかのような誤解を生じさせるものであったことに対し、野村氏は東労組に遺憾の意を表す。②今後、このようなことのないよう留意する。③解決金として20万円を東労組に支払う。というものである。

従前から指摘していたように、当該記事は事実無根であり、悪質な「革マルキャンペーン」であったことが改めて明らかになった。

一方、これに乗じて悪宣伝を行った者たちに改めて抗議の意思を明らかにする。とりわけＪＲ連合は、「野村旗守君を革マルから守る会 野村さんを支援する会」（代表幹事西村修平）などと協力して、毎回「傍聴支援活動」を行い、「ＪＲ東日本ユニオン組織通信」などで、誹謗中傷を繰り返し、いまだ反省の色もない。

ＪＲ総連はこれからも、あらゆる弾圧をはね返し、組合員の生活の維持向上を目指しながら、平和・人権・民主主義を守る闘いの王道を歩み続けることを明らかにする。

2008年1月25日

全日本鉄道労働組合総連合会

（ＪＲ総連）

小 田 裕 司